

喜多方市 御清水稲荷神社周辺

今回は、レトロな風情たっぷりの蔵のまち・喜多方市内を歩きます。市役所横の御清水稲荷神社から半径約300mをぐるっとひと回り。喜多方ラーメンのお店はもちろん、老舗の菓子店や酒蔵、文化財の建物など歴史を紡いできた、魅力的な場所がたくさんあります。



情緒のある雰囲気の中で味わうかき氷は格別。イチゴ味やメロン味など、200円～。



店長 新明電太さん

1 田原屋菓子店

大正初期創業の老舗菓子店

落ち着いた雰囲気満喫できる菓子店。「一口まんじゅう」(25個入、378円)や「きんづば」、「小豆もなか」など、長く愛される素朴な菓子を買い求める人が多く訪れる。蔵を改装した店内には飲食スペースもあり、癒しのスポットとしても人気。



喜多方市宇谷地田7393-3 ☎0241-22-0574 営9:00～19:00 水曜

今の季節は、ふわふわのかき氷がおすすめ！いろいろな味をご用意しています。庭を眺めながら、ひと休みしていただければ。



「朝ラー」にもびったりシンプルな「中華そば」(650円)。「チャーシューメン」(950円)も人気。

2 まこと食堂

著名人も多く訪れる人気ラーメン店

70有余年の歴史を持つ喜多方ラーメンは、ご当地ラーメンとして全国的に有名。ここ「まこと食堂」は、王道の喜多方ラーメンを味わえる店として高い人気を誇っている。食欲をそそるスープの香りが漂う店内は、地元のファンと観光客で賑わっている。プリッとした中太の平打ちちぢれ麺と、あっさりながらもしっかりダシの効いた醤油スープの相性は抜群。朝7時半から営業しているため、「朝ラー」も楽しむことができる。



喜多方市宇小田付道下7116 ☎0241-22-0232 営7:30～15:00 月曜(祝日の場合は営業、翌日休)



「ソースカツ丼や煮込みカツ丼(各1,000円)も味わえる。

サクサク香ばしいお煎餅!



人気アニメのオープニングで紹介されたこともある、味わい深く魅力ある蔵造りの店舗。

3 山中煎餅本舗

創業110年の老舗煎餅店。伝統米菓「たまりせんべい」(1枚86円)を始め、職人がレンガ窯の炭火で丁寧に焼き上げた煎餅各種を販売している。素材にもこだわっており、喜多方の醤油や会津山塩を使用している。炭火で煎餅を焼く体験ができ、修学旅行生など子ども達にも人気だ。生地を焼き棒に挟み、七輪の炭火の上でタイミングよくひっくり返しながらかき上げていく。楽しく焼いて、焼きたての煎餅が味わえる体験はおすすめ。



モチモチ麺に旨味たっぷりのスープが絡む♪ これぞ喜多方の味!

こんがり上手に焼きました!

煎餅手焼き体験(炭火焼き) 時間/10:30～16:00 料金/500円(手焼き用3枚+お土産せんべい) 受付/電話予約優先。(店頭受付も可) ※団体の場合、前日までに電話予約を。

喜多方市宇一丁目4643 ☎0241-22-0004 営10:00～16:00 水曜 facebook facebook.com/yamanakasensei

4 楽篆工房

漢字の成り立ちがオモシロイ!

古代の漢字を使う刻字家、高橋政巳さんのギャラリー兼工房。漢字の源である象形文字などをもとに、独自にデフォルメされたその創作的書体は、現代の漢字にはない新鮮さと独特の美しさがある。世界にひとつだけのオリジナル落款印や遊印、ストラップなどもオーダーでき、プレゼントとしてもおすすめ。遊印作り体験(大人2,600円、中学生以下1,600円)も人気(要予約)。



古代文字の由来を知ること、日本人本来の精神性を再発見できるんですよ。特に、名前に使われている文字に込められた意味を理解するのは楽しいですよ。

高橋さんがいる時に来店すれば、名前を古代文字で書き、漢字の意味を丁寧に解説してもらえる(サービス)。



書家・刻字家の高橋政巳さん。文字の魅力の伝承のために幅広く活躍中。



喜多方市寺町4771 ☎0241-22-3131 営10:00～18:00 木曜

5 大和川酒蔵 北方風土館

江戸時代中期創業の酒蔵。飯豊山の伏流水と、契約栽培農家や自社農園で収穫した良質な米を使い、長きに渡り酒造りに取り組んでいる。蔵の一部を「北方風土館」として公開し、酒造りの道具を展示している。施設内最古の蔵「江戸蔵」は、築220年以上。重厚な雰囲気と酔いしれることができる。酒蔵見学の際は、テイティングルームで試飲を。お気に入りの酒を選んで、蔵のまちならではのお土産に。



無農薬無化学肥料栽培米を使ったこだわりの「いのち」。(1800ml、15,768円)

喜多方市寺町4761 ☎0241-22-2233 営9:00～17:00(入館は16:30まで) 休1月1日 facebook facebook.com/yauemon.co.jp

代表銘柄「弥右衛門」。ふくよかでありながら、すっきりとした飲み口が人気。

6 若喜商店 レンガ蔵

宝暦5年(1755年)の創業以来、醤油、味噌を造り続けている。昭和6年に洋風の食品店として造られた店舗は、天井の漆喰(しっくい)が壮観で、レトロモダンな雰囲気。レンガ蔵は明治37年造で、二階建の蔵座敷の一階はすべて緋柿(しまがき)という珍しい柿の木で造られている。大切な客人を迎えるための空間には品格が漂い、歴史の重みもしっかりと感じられる。



「若喜天然醸造しょうゆ」(500ml、702円)。良質な会津産大豆を使い、土蔵の中でじっくり熟成させた逸品。

レトロな佇まいの国登録有形文化財



「緋柿の間」は、床の間、床柱、棚、調度品まで、すべて緋柿材が用いられている。洪と年輪が混ざってできた美しい木目が緋柿の特徴。



店内に飾られたレトロな看板が歴史を物語っています!

喜多方市宇三丁目4876 ☎0241-22-0010 営9:00～17:00 休不定休

7 弦や

ふれあい通りから細い路地に入った場所にある。豊富な地酒が評判の大家酒場。飛露喜、会津娘、奈良萬など、40種類以上の地酒を揃えている。備長炭の炭火で焼きあげる串物を始め、郷土料理や、地元の食材を使った肴がリーズナブルに楽しめる。グループはもちろん、一人でも気軽に立ち寄れるカジュアルな雰囲気も魅力。2011年の春にオープンした「弦や」には、会津の良い酒蔵をもっと知ってほしい、という店主山口さんの思いが込められている。

会津・喜多方の本当に美味しい酒と食を楽しみに、ぜひ来店ください! 弦やオリジナル酒もありますよ!



店主 山口広幸さん



「蔵元を囲む会津地酒の会」の開催や、地酒試飲イベント参加など、積極的な活動で会津の酒と食をPRしている。

▲鱈の山椒漬(450円)、馬刺し(680円)、煮込み(350円)、鶏もも山葵のり(150円)、つくね(120円)。地酒によく合う一品料理。旬の素材を使った「日本のオスス」もチェック。

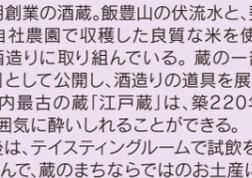
喜多方市宇尻西4874-1 ☎0241-22-0660 営[月～木]17:00～22:00 [金・土]17:00～23:00 休日曜(祝前日は営業) facebook facebook.com/motsuyaki.genya



試飲もできます! 好みのお酒をチェック!



蔵の中に流れる重厚な時間



酒蔵見学 時間/9:00～16:30 料金/無料 休館日/1月1日 ※10名以上の団体は前日までに電話予約を。

蔵の中に流れる重厚な時間

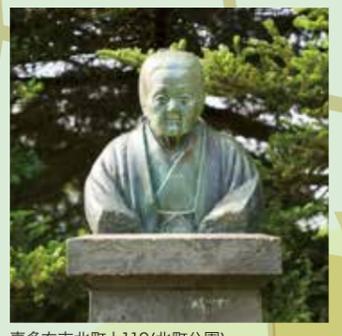


江戸時代、会津若松と米沢を結ぶ街道の要衝として栄えた喜多方は、田付川を境に西が小荒井、東が小田付と呼ばれる町でした。いずれも今も残る歴史的な町並みです。2018(平成30)年、文化庁の重要伝統的建造物群保存地区※に選定された小田付(おたづき蔵通り)は、天正年間に行われたという短冊状の地割の上に、さまざま蔵が建ち並び訪れる人を魅了します。さっそく歩いてみましょう。

※文化財保護法に規定され、伝統的建造物群と一体をなしてその価値を形成している環境を保存するために市町村が定める地区のこと。



4 北町公園 瓜生岩子胸像・生誕の碑



喜多方市北町上119(北町公園)

● 満福寺

4 瓜生岩子胸像・生誕の碑

「日本のナイチンゲール」とも称された瓜生岩子は、喜多方が生んだ社会慈善家です。活動の原点となったのが、14歳から行儀見習いとして会津藩御番医のもとで学んだ看護でした。戊辰戦争では、「敵も味方もない。怪我人は怪我人です」と、分け隔てなく傷兵の介抱に努めました。1896(明治29)年、女性初の紫綬褒章を受章。1901(明治34)年、東京・浅草寺に建立された銅像は、近代日本初の女性像となりました。北町公園(佐牟乃神社)には、1956(昭和31)年に建立された胸像と生誕の碑があります。公園から東南へ約60mのところにあった実家は、明治初期に焼失しています。



6 ござてんのう 牛頭天王社

牛頭天王は、インドの祇園精舎の守護神で疫病封じのご利益があるのだとか。平家物語のはじめの部分、「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」に出てくる祇園精舎は、仏教の聖地として古人が思いを馳せたと言われるところ。その守護神だなんて…。こちらは西四ツ谷の鎮守だった神社で、由来書きには1661(寛文元)年、京都祇園八坂神社から御神霊を勧請してこの地に祀ったとあります。その昔、疫病が流行した時にキュウリをお供えしたところ消滅したことから、キュウリの神様として崇められるようになったのだとか。訪ねた日もキュウリが2本お供えしてありました。

喜多方市西町



2 馬車の駅・地酒蔵

その昔、小田付地区は定期市で賑わい、豊富な伏流水と土蔵の保存性の高さを利用した酒・味噌・醤油の醸造業が発展しました。明治時代に建てられたという蔵座敷を活用した地酒蔵では、地元酒蔵のお酒(約10種類)を展示販売をしています。試飲もできるので気軽に声をかけてください。広い店内には、会津名産の味噌や漬物、お土産、無農薬で育てた季節の野菜なども並びます。軽食もあるので、まち歩きの休憩所にぴったり。広い駐車場の一角には、お手洗いや併設されています。観光馬車が市内を闊歩していた頃、馬車を引くお馬さんにとっても名前通りここは、水を飲んだり、ニンジンを食べりできる馬車の駅として重宝されたそうです。

喜多方市南町2856-1
☎0241-22-5355
🕒11:00~15:00(冬期変更あり)
🚗不定休 Pあり トイレあり

ひんやり、のど越しのいいところ。おいしい!



喜多方市小田付重要伝統的建造物群保存地区

おたづき蔵通り

医療法人 日新会 入澤病院 ●

5 小田付代官所跡

5 小田付代官所跡

代官所とは、江戸時代に幕府や諸藩の直轄地で年貢の徴収や土木工事、農政、治安をつかさどった地方官が事務を執った役所のことです。会津藩では、1787(天明7)年から寛政年間にかけて、家老田中玄宰による藩政改革が実施されました。これにより小田付代官所は、小田付、小荒井の両組を管轄し、河沼郡浜崎郡役所に属することになりました。御蔵稲荷神社の境内に代官所跡の石碑が建立されています。戊辰戦争では新選組が滞在しました。



喜多方市字大豆田3020-19周辺

1 蔵座敷あづまざうるし美術博物館

福島県内唯一だった米穀商が170年以上前に建てられた蔵屋敷を、お食事処とうるし美術博物館として改修、公開しています。蔵の内部は、商家として使われていた頃のまま生かされていて、古い梁や柱、建具などから往時の暮らしが偲べれます。うるし美術博物館として生かされている奥の深い座敷蔵は、ケヤキ造り・総漆塗りが入館無料です。重厚な扉の奥に、見事な漆美術品を展示しているだけでなく、漆の採取や色漆を作る顔料などの資料もあり漆の知識も得られます。

お食事処は、手前の土間にイス席、奥に広々とした和室があり、窓の向こうに純和風の庭園が広がります。会津の郷土料理、甘味噌や山椒味噌を使った香ばしい田楽、風味のよい地粉100%の手打ちそば、喜多方ラーメン、コーヒーなど、時間を忘れて過ごせます。ビタミン&食物繊維たっぷりの古代米、ごぼう、天ぷらなどのセット「蔵御膳」。手打ちそば、田楽、饅頭の天ぷらなどが味わえる「そば定食B」は、いずれも前日までに要予約。

喜多方市東町4109
☎0241-24-4111
🕒9:00~17:00(冬期変更あり)
🚗年中無休 P30台(無料)
<http://www.kuranomachi.com/>



すごい!好きなものがたくさん並んでる



お稲荷さん付のそば定食

● 喜多方市東町 蔵屋敷小田付観光案内所

1 蔵座敷あづまざうるし美術博物館

3 酒蔵くらしっく 小原酒造



6 ござてんのう 牛頭天王社



わあ〜、杉玉がこんなにたくさん!感動する



どれもおいしかった!20歳になってよかった

本日の試飲のラインナップ、全部いただきました

